

実践団体情報 (1 団体あたり 1 回だけ記入する内容です)

必要に応じてセル(表の枠)の高さを調整していただいて構いません

記入日	西暦 2020 年 1 月 10 日 (2019 年度のチャレンジプラン)
実践団体名	⑮ U R 都市機構 (尾山台団地)
代表者名	尾山台団地自治会・自主防災会
プラン全体のタイトル	団地の防災力をダンチガイに!! ～安心・安全 団地でサバイバル (在宅避難)～
電話番号	048-721-3752
メールアドレス	qqbd6hk9k@eagle.ocn.ne.jp
所属メンバー	尾山台団地自治会・自主防災会
活動地域	埼玉県上尾市瓦 ^{かわらぶき} 葺 2716 尾山台団地及び周辺地域
活動開始時期・結成時期	1967 年 自治会発足 1998 年 自主防災会発足
過去の活動履歴・受賞歴	1978 年 消火訓練開始、以降、年 1 回の防災訓練を実施 1995 年 阪神淡路大震災、救済募金活動に取り組み、風水害を含めた被災地支援を継続 2012 年 上尾市栄誉賞受賞 安全確保の目印に「黄色いハンカチ」掲揚 2013 年 防災士誕生 (現在 4 名) 2015 年 「防災の手引き」作成、全戸配布

プラン全体の概要	防災をテーマとした交流の場「尾山台団地みんなの防災カフェ」を継続開催し、「震災でも団地は倒れない」「避難所には全員が避難できない」を前提に、住民自らが課題の洗い出しと対策の立案を進める。自主的かつ継続的な活動に加え、上尾市防災士協議会による地震対策講座や防災訓練での上尾看護専門学校による救急講習等の協力を受け、防災知識の向上と団地のコミュニティ活性化を図る。ワークショップや避難訓練等の一連の取り組みの総まとめとして、発災時は、原則「在宅避難」を推奨する地区防災計画策定及び「防災の手引き」を改訂。
----------	--



プランの年間活動記録

	プランの立案と調整	活動準備	実践活動
4 月	自主防災会総会		
5 月	活動計画打合せ	ワークショップ準備	有識者先生と意見交換
6 月	アンケート打合せ		第 3 回「防災カフェ」 “自宅内の安全について”
7 月	活動打合せ	アンケート配布準備・配布	「防災アンケート」全戸配布
8 月	活動打合せ	ワークショップ準備 アンケート回収	「イツモ防災」講座 上尾市防災士協議会と連携
9 月	活動打合せ	アンケートまとめ	第 4 回「防災カフェ」 “部屋をきれいにする”
10 月	活動打合せ	ワークショップ準備	第 5 回「防災カフェ」 “災害時のコミュニケーション”
11 月	活動打合せ	防災訓練準備	防災訓練
12 月	活動打合せ	ワークショップ準備 指定避難所訓練準備	第 6 回女性限定「防災カフェ」 “女性目線での防災対策” 指定避難所避難訓練「避難所シミュレーションゲーム～段ボールハウスをつくろう」
1 月	活動打合せ	地区防災計画提出準備 「防災の手引き」改訂準備	地区防災計画住民説明会
2 月	活動打合せ	地区防災計画提出準備	上尾市防災会議で審議・承認
3 月	活動打合せ	「防災の手引き」改訂準備	「防災の手引き」（改訂版） 全戸配布予定

プラン全体の反省点・課題・感想	長年お住まいの高齢者と比較的短期間で入れ替わることの多い若年層の双方をコミュニティに取り組み、団地を活性化させ、防災活動も継続していくことが出来ればよいと考える。
-----------------	--



今後の活動予定	今回作成した地区防災計画の基本である「在宅避難」を可能にするため、「防災カフェ」のテーマ“部屋をきれいにする”をきっかけに、フリーマーケットやネットを活用し、高齢者・若年層の双方に通ずる“不要品を利活用する”仕組みを検討している。フリーマーケットの開催やネット上のサービスを利用したやり取りを行うことで、モノだけでなく文化も繋ぐ世代を超えたコミュニティ活性化になればと考える。さらには、不要品を利活用することで自室内がきれいになり、家具固定等、命を守る防災対策の啓発にも努めたい。
---------	---